



## いつも隣にある図書館

### 【学校の概要】

- ①所在地 福島市宮下町7-41
- ②学級数・生徒数 21クラス・833名（令和4年5月1日現在）
- ③学校図書館の蔵書数 53,679冊（令和4年3月31日現在）

### 【読書活動推進へ向けた取組】

## 広報

### 図書館HP（校内限定）

今年度から蔵書検索システムのクラウド版を導入し、システムの機能を利用して「図書館HP」を作成した。いつでも・どこからでも・どの端末でもアクセス可能で、蔵書の検索（貸出状況を含む）、新着図書・推薦図書リスト・図書館からのお知らせ・開館カレンダーの確認、予約・リクエスト申込み（Googleフォーム利用）等が可能となった。

### 新着図書案内

図書館前廊下のホワイトボードに、新着図書の表紙または背表紙をカラーコピーしたものを掲示している。生徒の興味を引くような表紙や帯をうまく活用することを心がけている。新着図書の一覧は、図書館HPからも閲覧できる。

### 図書館だより

図書委員の広報班が中心となって作成し、毎月発行。担当生徒による新着図書の紹介や、テーマを決めての特集、先生方の寄稿による随想「たちばな抄」などを掲載。全生徒・全教職員に配布。PDFデータ（カラー）は図書館HPで閲覧できる。

### 図書館報

図書委員の館報班が中心となって作成し、毎年12月に発行。今年度は「人生を変えた本」「表紙に惹かれた本」をテーマに特集を組んだ。紹介した本は館内に展示している。



図書館入口（生徒昇降口の前）



## 館内展示

図書委員の企画展示班が中心となり、随時様々なコーナーを作り、展示・貸出中。

【テーマ例】「青春☆部活ストーリー」「梅雨を吹き飛ばすさわやかな本」「夏に読みたい！本」「あえて！しみりとした気持ちになる本」「自然に関する本」「ホラー系の本」「冬休みにおすすめの本」etc.

また、常設しているいくつかのコーナーのうち、「最近返却された本」「映像化された本」はよく手に取られている。

入口付近にあり、「何か読みたいけれど、何を讀んでいいかわからない」という利用者が、気軽に本を借りるきっかけとなっているコーナーである。



# 授業・進路活動等の支援

## 各種ガイダンスの実施

- 1年生：4月の国語の時間に図書館オリエンテーションを実施。
- 2年生：探究ガイダンスの時間に図書館での調べものの仕方についてパワーポイントで説明。

## 調べ物の支援

生徒が図書館で行うあらゆる調べ物の支援を行っている。答えを提供するのではなく、「調べ方」を伝えるように意識している。蔵書でカバーできない場合は、相互貸借や新規購入でできるかぎり対応。

## 「受験・小論文コーナー」を常設

小論文の書き方の本から、分野別の「読んでおきたい本」、学部の選び方の本、受験勉強の参考になる本、時事問題の本などを集めたコーナー。

「読んでおきたい本」は持ち帰り可能なリストも設置。また、同じリストを図書館HPからも見ることができ、貸出状況もほぼリアルタイムで確認可能となっている。

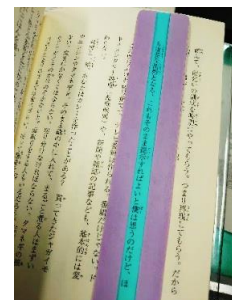
このコーナーと併せて新書コーナー、ブックレットコーナーも活用するよう呼び掛けている。



受験・小論文コーナー  
(図書館入口)

## 図書委員会行事

- ・今年度は3年ぶりに夏休みの研修旅行を実施することができ、福島大学附属図書館と福島県立医科大学福島駅前キャンパス図書室を見学させていただいた。
- ・11月に古雑誌の無料配布会を実施した。
- ・図書館報に「図書館クイズ」を掲載し、正解者先着30名に景品をプレゼントした。クイズの内容は、図書館や読書に関する話題を知るきっかけとなるようなものにした。景品の一つである「リーディングトラッカー」は読書を補助するツールであるが、図書委員がその性質を理解し、カウンター当番の際に手作りしたものである。



リーディングトラッカー  
(色の組み合わせは複数用意)

## 環境整備

### 開館時間 (月～木 7:30～17:30 金 7:30～16:45)

基本的な開館時間は8:15～16:45だが、生徒のニーズに応え、図書部教職員と図書委員生徒により、早朝開館・夕方の延長開館を実施している(長期休業中を除く)。

### 除籍・遡及入力

古い蔵書が多いため、毎年2,000冊超の除籍を続けており、併せて不足した分野の買い替えを行うことで、新しく正しい情報の提供、書架の魅力向上につなげている。また、検索性の向上、所蔵資料の有効活用、貸出・返却作業の効率化を図るべく遡及入力作業も進めている。

### その他

・令和4年夏より、館内へのフタ付き飲み物の持ち込みを可とした。かねてより生徒からの要望が多かったことに加え、猛暑・節電要請や、大学図書館等の昨今の動きを考慮し許可した。

・部活動の作品を館内に展示できる旨を呼び掛けている。今年度は文芸部の部誌、写真部・ハンドメイド部・華道部の作品を展示した。発表の場の一つとして、今後も活用を促したい。

・勉強や部活動で日々忙しい生徒にとって、周りを気にせずゆっくり座っていられる場所は貴重であり、館内のソファや、書架の間に数ヶ所ある椅子は、そんな場の一つとして愛好者が多い。近くに写真集や絵本、ぬいぐるみを置くなど、ほっとできるスペースを演出している。



↑雑誌コーナーにあるソファと  
書架の間にある椅子↓

